

2024 年度 第 1 回 全道推進会議



日 時 2024 年 11 月 14 日 (木) 14:00～
場 所 札幌ガーデンパレス 2階「丹頂」
札幌市中央区北 1 条西 6 丁目 (011) 261-5311

北海道労働金庫推進会議

議 事 次 第

開 会 小倉副議長

全道推進会議挨拶 高倉議長

<来賓挨拶>

北海道労働金庫 杉山理事長

北海道労働金庫

<報告事項>

I. 「2024年度事業計画 上期遂行状況」について 石川専務理事

II. 「新長期ビジョン」「中期経営計画」骨格案（原案）について //

III. 「共生社会の実現に向けた上期取組み報告」について 榎田室長
(地域共生推進室)

～質 疑～

全道推進会議

<報告事項>

I. 2024年度 上期推進活動総括 紺野事務局長

～質 疑～

<協議事項>

I. 2024年度下期推進活動方針（案） 紺野事務局長

II. 今後の日程 //

～質 疑～

閉 会 小倉副議長

<報告事項>

- I. 「2024 年度事業計画 上期遂行状況」 について
～ 別添資料参照 ～
- II. 「新長期ビジョン」「中期経営計画」骨格案（原案）について
～ 別添資料参照 ～
- III. 「共生社会の実現に向けた上期取組み報告」 について
～ 別添資料参照 ～

全道推進会議

<報告事項>

I. 2024 年度上期推進活動総括

上期におけるろうきん運動の推進は、北海道ろうきんにおける「長期ビジョン（～2024 年度）」の集大成となる「中期経営計画（2022～2024 年度）」の最終年度として、ろうきんが掲げるコアバリューの実現が、組合員の生活向上に繋がることに確信を持ち、会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めました。

具体的には、連合北海道・2023 生活アンケートの結果をふまえ、「つなぐプロジェクト for SDG s」推進運動を基軸とし、ろうきん運動の原点である「預金結集」や「可処分所得向上運動」を進め、組合員との接点強化に資する各種取組みを行うことで、ろうきんメインバンク No. 1 への取組みを展開しました。

<重点取組項目>

1. 【つなぐプロジェクト for SDG s】における「自主目標設定運動」の取組み

- (1) 【つなぐプロジェクト for SDG s】の達成に向け「会員自主目標推進運動」を『重点取組み項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みました。
- (2) 各店・出張所推進委員会においては、「会員自主目標の設定件数」が「つなぐプロジェクト会員目標」に近づくよう取組みを展開した結果、会員自主目標推進運動は9月末時点で676 会員となりました。【資料1-①・②参照】

2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み【資料2参照】

- (1) 『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、昨今の物価高騰や借入利率の上昇等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の可処分所得向上に資する取組みを『重点取組項目』に設定し、組合員の生活改善に取組みました。
- (2) 取組みにあたっては、「住きっと！500」に含まれるカードローン借換額を新たに算出基準に加え、可処分所得向上額 10 億円を目標とし、職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動、「他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換推進」や「奨学金借換ローンの周知活動」によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開しました。なお、自治労北海道が、奨学金の返済に苦慮する仲間の支援に

加え、組織強化と次代の担い手育成につなげることを目的に、北海道労働金庫と連携の上、2022年12月に取扱いを開始した組合保証の「奨学金借換ローン」は、2024年9月末時点で、83件、2億2百万円の取組実績となりました。

【重点取組項目】

① 可処分所得向上運動

可処分所得向上額（2024年9月末時点）
【実績】6億9百万円（前年同期比+2億47百万円）
可処分所得向上運動に関する学習会開催実績（2024年9月末時点）
【実績】355件／7,986名（前年同期比+99件／+1,733名）

② 「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知運動

【奨学金借換ローン】

奨学金借換ローン新規実績（2024年9月末時点）
【実績】23件／59百万円（前年同期比▲10件／▲28百万円）
奨学金借換ローン累計実績（2024年9月末時点）
【実績】537件／13億13百万円（集計期間：2017年10月1日～2024年9月30日）

【奨学金借換+αローン】

奨学金借換+αローン新規実績（2024年9月末時点）
【実績】20件／94百万円（前年同期比+12件／+61百万円）

③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

全力応援 pack（非正規勤労者向け融資商品）新規件数（2024年9月末時点）
【実績】300件（前年同期比▲2件）

<共通取組項目>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開【資料3-①～③参照】

- (1) ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大に取り組みました。
- (2) 具体的には、「会員自主目標推進運動」を基軸として、年度当初に寄付先を選定し、地域団体への貢献と連携を進めたうえで、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、フルキャッシュバックサービスの周知をはじめ、組合員へ広く知らせる活動を展開しました。
- (3) 結果として、上期末時点での同プロジェクト対象項目の預金・融資・各種サービス新規取引実績は25,683件、北海道ろうきんATM利用件数は717,841件、ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数は168,524回、非対面項目が15,477件、ろうきん運動項目が827件、NPOとの連携項目が17件となりました。利用実績やろうきん運動項目等に応じた福祉団体への寄付見込額は5,762千円（前年同期比+284千円）となりました。

【預金・融資・各種サービス実績】

No	項目	年間目標	上期実績	達成率
①	メイン化（給振・年金・公振・クレジット）	17,800	11,180	62.8%
②	預金（財形・エース・おこさま口座）	6,350	3,708	58.3%
③	融資（団体融資・手形貸付等除く）	15,131	9,178	60.6%
④	預かり資産（個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規）	1,234	1,617	131.0%
	合計	40,515	25,683	63.3%

【北海道ろうきん ATM 利用件数】

項目	件数
北海道ろうきん ATM 利用件数	717,841 件

※ 北海道ろうきん ATM にて入金・出金（ローンカード含む）1 回につき 1 円を寄付。

【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】

項目	件数
ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数	168,524 回

※ 北海道ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数 1 回につき 1 円を寄付。

【非対面項目実績】

項目	年間目標	上期実績	達成率
非対面（ろうきんアプリ・エコ通帳・団体 I B）	21,100	15,477	73.3%

【ろうきん運動項目実績】

No	項目	回数・会員数
①	学習会開催回数	640 回
②	議案書・機関紙への掲載会員数	187 会員
	合計	827

【NPOとの連携項目実績】

No	項目	件数
①	融資相談件数	7 件
②	NPO法人普通預金口座開設数	10 件
	合計	17 件

【会員自主目標推進運動実績】

項目	会員数
会員自主目標設定会員数	676 会員

2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

(1) 「生活設計」運動の取組み

- ① 「2024 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取組みました。取組みにあたっては、組合員の「貯蓄」と「投資」のバランスに配慮し、特に勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知し取組みました。

2024 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン(4月1日～1月31日)
新規件数 (2024 年 9 月末時点)

財形新規件数：2,266 件／iDeCo 新規件数：175 件／
投資信託定時定額買付(NISA 制度含む)：1,559 件

※ キャンペーン対象商品 (適用条件有)

ア. ためるコース：「財形貯蓄」の新規契約または増額契約

イ. 運用するコース：「iDeCo」または「投資信託定時定額買付」の新規契約

エース預金新規件数 (2024 年 9 月末時点)

【新規件数】522 件 (前年同期比+150 件)

投資信託・国債新規件数 (2024 年 9 月末時点)

投資信託新規件数：761 件／国債新規件数：681 件

- ② 退職者層の生涯取引に向けて、前年度から引き続き「退職金結集運動」を展開し、産別からの退職者情報提供(4産別)「全開発・JP 労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催(12 会員・124 名)」など会員・推進機構による主体的な運動に取り組みました。【資料 4 参照】

退職金結集金額 (2024 年 9 月末時点)

【運動目標】50 億 5 百万円 【運動成果】86 億 27 百万円 (目標対比+36 億 22 百万円)

- ③ ろうきん運動の原点である「季節キャンペーン」を展開し、夏季一時金の預入について、取組みを実施しました。

2024 サマーキャンペーン実績 (6 月 3 日～7 月 31 日)

【定期・エース預金新規預入】18,591 件・129 億 43 百万円 (2023 年度比+2,391 件・+77 億 33 百万円)

- ④ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大に取り組みました。

ろうきんアプリ契約件数 (2024 年 9 月末時点)

【契約件数】10,244 件【累計契約件数(2019 年 10 月 22 日～2024 年 9 月末)】94,154 件

エコ通帳 [通帳不発行型の普通預金口座] (2024 年 9 月末時点)

【新規件数】5,158 件 (前年同期比+736 件)

- (2) 「生活改善」運動の取組み【資料 5-①～③参照】

「可処分所得向上運動」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携強化を図りました。また、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取り組みました。

- ① 住宅ローン推進運動

有担保ローン新規目標額 (2024 年 9 月末時点)

【目標】334 億円 【実績】349 億円 (目標対比+15 億円)

- (3) 「生活防衛」運動の取組み

- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開しました。特に若年層において「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開しています。

Young pack キャンペーン実績 (2024 年 9 月末時点)

【実績】 646 件 (前年同期比+15 件)

- ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取り組めました。【資料 6-①・②参照】

生活防衛運動に関する学習会開催回数 (2024 年 9 月末時点)

【開催回数】 134 件 【参加組合員数】 2,987 人

- ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応を行いました。

多重債務相談 (2024 年 9 月末時点)

【高金利ローン借換・多重債務相談件数】 963 件

3. 職域活動費の効果的な活用【資料 7-①・②参照】

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は 361 回、延べ 8,485 名の出席となり、会員組合員との接点強化が図られました(内、WEB を活用した学習会は 1 回となりました)。
- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「資産形成に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用が浸透し、活用金額は 14,762,300 円(前年同期比 +2,824 千円)となりました。

4. 推進機構活性化運動の展開

(1) 運動の基盤強化

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」「職場推進委員会の設置・活性化」【資料 8 参照】に取り組めました。結果として、「大会議案書へのろうきん運動方針化」は 103 会員、「組合機関紙への商品・サービスの掲載」は 84 会員、「職場推進委員会の設置数」は 491 会員となりました。

(2) 「組合員様専用サイト」の活用

ろうきんがホームページ上に開設している「組合員様専用サイト」を活用し、地域・職場で工夫しながら取り組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図りました。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物の作成した他、「WEB アンケート BOX」を活用した取組みを展開した結果、当該ページへのアクセス数は 5,817 件となりました。

(3) ナショナルセンターとの連携

「連合北海道」「北海道労働者福祉協議会」が「勤労者福祉の向上」を目的に展開する「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、関係団体との合同による労働福祉事業団体の利用拡大に向けた要請活動を都合 19 産別に対し実施しました。要請活動については、現在日程調整をおこなっておりますが、引き続き、4 ブロック労福協に対して実施される予定です。加えて、労福協運動の理念・歴史を継承するために開催された「北部労福協『第 9 回労働者福祉運動の理念・歴史講座』」に参画しました。

5. ブロック別研修会の開催

今年度のブロック別研修会は、参加対象者をろうきん運動の担い手となる会員中堅役員ならびに青年女性層組合員とし、上期は9月28日に上川ブロックで開催しました。

下期については2ブロック（道東、石狩）にて開催を予定しています。

【2024年度ブロック別研修会開催日・開催地一覧】

対象ブロック	開催日	開催地
上川	9月28日（土）	旭川市
道東	10月18日（金）	釧路市
石狩	11月9日（土）	札幌市

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」と「北海道ろうきん」が連携し、「年金口座移管運動」を展開した結果、ろうきんでの年金受取口座は27,198件（2024年9月末時点）となりました。

7. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「賃金控除事務支援サービス」、「QR伝票作成システム」、「ろうきんUC法人カード」を推進し、会員・ろうきん双方の事務負担の軽減を図るとともに、ろうきん職員と組合員の更なる接点拡大に向けて取組み展開しました。

【2024年4月1日～2024年9月30日】

No	項目	件数
①	団体IB契約数	75件
②	賃金控除事務支援サービス契約数	35件
③	QR伝票印刷システム利用件数	22,928件
④	ろうきんUC法人カード契約団体数	4団体
	合計	23,007

<協議事項>

I. 2024 年度下期推進活動方針（案）

「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動を基軸とし、ろうきん運動の原点である「預金結集」や「可処分所得向上運動」を進め、組合員との接点強化に資する各種取組みを行うことで、会員組合員ろうきんメインバンク No.1 への取組みを継続します。

<重点取組項目>

1. 【つなぐプロジェクト for SDGs】における「自主目標設定運動」の取組み

- (1) 上期末の進捗をふまえ、『共通取組み』である【つなぐプロジェクト for SDGs】の達成に向け「**会員自主目標推進運動**」を『重点取組み項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みます。
- (2) 会員自主目標の設定にあたっては、つなぐプロジェクト「**会員分件数目標**」⇔「**会員自主目標**」を目指した取組みとなるよう、ろうきん各営業店と連携します。

2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み

- (1) 『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、物価高騰や借入利率の上昇等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の**可処分所得向上に資する取組み**を『重点取組項目』に設定し、組合員の生活改善に取組みを継続します。
- (2) 取組みにあたっては、引き続き、他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換を推進し、組合員の「可処分所得向上額 10 億円以上」を目指します。
- (3) 大学生の約 5 割が利用している奨学金について、社会人になってからの返済負担が将来不安に繋がっている状況の改善に向け、組合員の負担軽減に継続して取組みます。また、「教育ローン（奨学金借換専用）」申込者を対象とする「ろうきん団信」「がん団信」の付保取扱いについて、周知活動を展開し、万一の際の組合員およびその家族の生活保障に備えます。
- (4) 引き続き、協同組合組織や福祉事業団体との連帯により、以下のろうきん商品・サービスを重点運動項目とします。

全道推進会議・重点運動項目
① 「マイプラン」や「メンバーズローン」等を活用した高金利商品からのろうきん商品への借換の取組み
② 「奨学金借換ローン」および「奨学金借換+αローン」の周知活動の展開
③ 「全力応援 pack」の周知による非正規雇用組合員の取引拡大の取組み

<共通取組み>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開

- (1) 引き続き、ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大を目指します。
- (2) 「つなぐプロジェクト for SDGs」の取組みにあたっては、引き続き、「**会員自主目標推進運動**」を【**重点取組項目**】に設定し、ろうきんとの連携を強化します。
- (3) 上期に引き続き、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会

等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動をブロック労福協・産別と連携し展開します。

- (4) コロナ禍により十分に教宣が行えなかった若年層組合員に対しては、「フルキャッシュバックサービス」等の各種サービス周知を強化するとともに、ろうきんが設定する「Young pack キャンペーン」「ろうきん APP (アップ) キャンペーン」などを活用し、産別・単組および地域における「組織拡大」と連動した取組みを展開します。

【ろうきん APP (アップ) キャンペーン】

- | |
|---|
| <p>i. キャンペーン期間：2024年10月1日（火）～2025年1月31日（金）</p> <p>ii. <u>条件①【えらべる Pay500 円分】</u>
今年度中（2024年4月～2025年1月末）に新たにろうきんアプリを口座連携した方</p> <p><u>条件②【えらべる Pay1,000 円分】</u>
2024年10月・11月・12月・2025年1月の各月末時点で<u>ろうきんアプリと口座連携済みかつ2024年4月～2025年1月末の期間中にキャッシュレス決済サービス用口座にろうきんアプリ登録口座を登録し、チャージまたは支払いした方</u></p> <p>iii. いずれかの利用条件を満たし、アプリ内の応募フォームよりアンケート入力した場合、抽選で毎月100名、合計400名に「えらべる Pay」を進呈します。</p> <p>※ 「えらべる Pay」は、ポイントや Pay 系の商品を自由に選べるギフトです。</p> |
|---|

2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

- (1) 「生活設計」運動は、引き続き、ろうきん商品の周知活動を展開するとともに、以下の取組みをそれぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携のうえ、取組みを展開します。

- ① 「2024“人生100年時代”未来設計スタートキャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取組みます。取組みにあたっては、組合員の「貯蓄」と「投資」のバランスに配慮し、特に勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知する取組みを展開します。
- ② 退職者層の生涯取引に向けて、「退職金結集運動」を展開します。活動にあたっては、組合役員帯同オルグの実施や、職域活動費を活用した学習会・セミナーに取組みます。
- ③ ろうきん運動の原点である「季節キャンペーン」を展開し、冬季一時金の結集とあわせて、「お子さま口座」を中心に家族取引の拡大を目指します。
- ④ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大を目指します。

全道推進会議・重点運動項目

- | |
|---|
| <p>ア. 「財形預金」、「エース預金」などの積立型定期預金の推進</p> <p>イ. 退職者向け「高金利定期預金商品（年金定期・リラックス等）」の推進</p> <p>ウ. 組合員や退職者のニーズを捉えた「投資信託」・「国債」などの推奨</p> <p>エ. 「iDeCo」や「つみたてNISA」など税優遇のある積立型投資商品の推奨</p> <p>オ. 非対面サービスである「エコ通帳」「ろうきんアプリ」「ろうきんダイレクト」などの推進</p> |
|---|

(2) 「生活改善」運動の取組みについては、引き続き、「可処分所得向上運動」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携強化を図ります。また、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取組みます。

- ① 道労福協が実施する「奨学金に関する電話相談（11月15日～16日）」において、ろうきんとも連携し、ライフサポートセンターと一体となった取組みを展開します。
- ② 道労福協と中央労福協が連携し、取組みを行っている「奨学金問題の根本である教育費負担軽減の取組み」に関わる「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」署名に対し、全道推進会議としても賛同し、全道推進会議、各店推進会議において団体署名を実施しました。

(3) 「生活防衛」運動の取組みについては、それぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携のうえ、以下の取組みを上期に引き続き展開します。

- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開します。特に若年層にとっては、「資産形成」を進めると同時に、「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開します。
- ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取組みます。
- ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応します。

お客様相談室（相談員 1 名）	
<フリーダイヤル>	0120-380-931
<住所>	札幌市中央区北 1 条西 5 丁目 3-10 本館 1F コンサルティングプラザ内

3. 職域活動費の効果的な活用

WEB 学習会での職域活動費の使用が可能となっていることから、上期に引き続き、積極的に活用します。なお、WEB 学習会への活用には、対象人数の確認が必要なことから、事前申請の扱いとします。

(1) 2024 年度職域活動費
① 年度予算 3,000 万円
② 組合員 1 人当たり活用上限 2,000 円
(2) WEB 会議での活用例
① 会員が主催する WEB 会議において、各接続拠点（労組・支部単位等）の「会場・設備」に係る費用の助成。
② WEB 会議開催の際に、接続拠点ごとに提供する「弁当代・懇親会」に係る費用の助成。

4. 推進機構活性化運動の展開

- (1) 地域や職場でのろうきん運動の浸透に向け、必要に応じて WEB 環境を活用するなど、本支店・出張所推進委員会への出席率向上に取組みます。
- (2) ろうきんがホームページ上に開設している「組合員様専用サイト」を活用し、地域・

職場で工夫しながら取組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図ります。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物の作成や、「WEB アンケート BOX」を活用した取組みを展開します。

5. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

生涯取引の確立に向け、「年金口座移管運動」を推進の柱として、「ろうきん友の会」や「北海道退職者連合」「各退職者組織」と連携した取組みを進めます。

6. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「賃金控除事務支援サービス」、「QR 伝票作成システム」、「ろうきんUC法人カード」を推進し、会員、ろうきん双方の事務負担の軽減を図るとともに、ろうきん職員と組合員の更なる接点拡大に向けて取組みます。

II. 今後の日程

開催日時（予定）	会議名	開催場所
2025年2月3日（月）15時	第2回全道推進会議	札幌ガーデンパレス

以上